

東京都推奨映画のご案内

作 品 名	ぼくとパパ、約束の週末
制作者等	WIEDEMANN & BERG FILM GMBH/SEVENPICTURES FILM GMBH
内 容	本作品は、週末に10歳の息子と父親が全ドイツのサッカースタジアムを観戦するストーリーによって展開される映画であり、こだわりの自主ルールを持つ主人公が家族の優しさによって成長していく姿を中心に描いた作品である。 幼い頃から自閉症だと診断された主人公が、学校や近所で癇癇を起こしトラブルを招いてしまう描写から、それが病気の特徴の一つだと理解することは青少年の社会に対する良識と倫理観を育てるものである。 主人公が家族や各地のスタジアムで出会う様々な人々と交流するシーンを見ることで、独特なこだわりやコミュニケーションの在り方など、自閉症の特徴を学ぶことができ、知識を身につけ教養を深めることに役立つものである。 社会生活を送る上で時にわがままだと取られがちな主人公の行動について、個性として暖かく見守る家族の姿は青少年の人を大切にする心を育てるものである。 推しのサッカーチームを見つける旅の中で見られる主人公の自己中心的な行動とそれに対する父親の対応は、どのような時にどのような支援が必要なのかを理解するきっかけになるとともに、思考力や批判力、観察力を養うことができる。 主人公がクラスメイトの前で、自分の障害についての悩みや葛藤を発表し、拍手で受け入れられるシーンでは、主人公の勇気とクラスメイト達の受容の精神を見て取ることができ、青少年の健全な心身の成長に資するものである。
推奨理由	青少年（主として小学4年生以上）を健全に育成する上で有益であると認め、小学4年生以上を対象に推奨する。
上映	令和6年11月15日（金曜日）から 新宿ピカデリー、角川シネマ有楽町 ほかにて
問合せ先	株式会社SDP 電話 03(5724)3975

東京都推奨映画のご案内

作 品 名	アイミタガイ
制作者等	「アイミタガイ」製作委員会
内 容	本作品は、かけがえのない親友を突然失い立ち止まってしまった主人公の心が、様々な人との出会いや触れ合い、他者への愛情に気づくことを通して、再び動き始める様子を丁寧に描いた物語である。 叔母宅の近所で主人公と交際相手が消火活動をして鎮火するシーンや、いじめに対する親友の毅然とした態度に救われた回想シーンは、人として勇気ある行動を示し良識や倫理観を育むものである。 戦時中にピアノを弾き戦地へ兵士を送り出したことを後悔している女性、娘の遺志を継いだ両親の想いは、青少年の人を慈しみ、大切にする心を育てるものである。 川などの自然を含む風情ある街並み、ピアノの音色や電車から見る風景など、昔ながらの様子を感じられるとともに、登場人物たちが相手を思いやる心の在り方について、青少年の感性を磨き育てるものである。 些細なことでも他者を想い行動することは巡り巡って自分も救われる、という本作品のテーマは、仲間に対する信頼感の醸成につながり青少年の心身の成長するものである。
推奨理由	青少年（主として中学生以上）を健全に育成する上で有益であると認め、中学生以上を対象に推奨する。
上映	令和6年11月1日（金曜日）から TOHOシネマズ日比谷 ほかに全国250～280館公開予定
問合せ先	株式会社博報堂DYミュージック＆ピクチャーズ 電話 03（6441）9694